

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 30 年 6 月 6 日現在

機関番号：34314

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2015～2017

課題番号：15H03185

研究課題名(和文)古代幼学書の文化史的研究

研究課題名(英文)Cultural history study on ancient young child's educational text

研究代表者

黒田 彰(Kuroda, Akira)

佛教大学・文学部・教授

研究者番号：80178136

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,800,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、1. 孝子伝図・列女伝図の研究、2. 『孝子伝注解』の中国語訳、3. 海外の幼学研究、4. 新領域研究、の四課題から成る。

1は、『武梁祠画像注解』(幼学の会)の原稿がほぼ完成し、参考画像の整理段階である。又、孝子伝図研究において、呉強華コレクションの出現が、今後の課題である。2は、セン雪艶教授による訳稿が終了した。3は、白謙慎氏と共編の論著が近く刊行される。また、呉強華氏蔵テキ門生石床のテキ門生がソグド人であることを論証、報告した。これによりソグド学国際シンポジウムが本年11月に開催されることになった。4は、八幡縁起の継続的な紹介、『平仮名本三国伝記』、『和漢朗詠集』などを公刊した。

研究成果の概要(英文)：This subjects of this research are as follows. 1 is research of images of Accounts of Filial Offspring and images Accounts of Outstanding Women. 2 is translation of Annotation of Accounts of Filial Offspring to Chinese. 3 is ancient young child's educational text in Asia. 4 is the new territory of this field.

In theme 1, we have completed the draft of Annotation on images of Wu Liang shrine, now sorting out the some images for this book. Especially, future task to research is the collection of Mr. Wu Qianghua. In theme 2, the translation is almost completed. In theme 3, the book on this theme is to published by co-organized with Prof. Bai Qianshen. In addition to this, I have proved that the テキ門生 is the sogdite in conference presentation, as a result, International Symposium on Sogdology in Nov. 2018 in China. In theme 4, we continue to research on Hachiman-engi, and published Hiragana-bon-Sangokudenki and Wakan-roueisyu.

研究分野：中世文学

キーワード：孝子伝 孝子伝図 幼学 テキ門生 呉強華コレクション

1. 研究開始当初の背景

古代幼学書とは、我が国の古代に中国より舶載され、文学を始め文化一般に多大な影響を与えた文献を言う。具体的には、太田晶二郎氏が「幼学の書は、程度は低いものであるけれども、根柢的な影響を広範囲に及ぼす。高尚なる文芸・思想等に至っても、その史的考察に、当時の幼学書が何であったかを知って、之を考慮に入れる要がある」(「四部ノ読書」考)『歴史教育』7・7、昭和34年7月。太田晶二郎著作集1所収)と指摘した千字文(または新楽府)・百詠・蒙求・和漢朗詠集や、「三注」と称された千字文・蒙求・胡曾詩の注などを指す。

研究代表者の黒田は、この提言を受けて、伊藤正義との共編による『和漢朗詠集古注釈集成』全三巻(研究業績35)や、玄恵法印の『胡曾詩抄』(研究業績37)などを公刊してきた。そして、1983年に幼学の会(代表・黒田彰、後藤昭雄、東野治之、三木雅博、山崎誠)を結成し、今日まで一貫して古代幼学の研究に取り組んでいる。

幼学の会は、これまで四次に亙る科学研究費が交付され(これまで受けた研究費とその成果等を参照)、下記の成果を公刊してきた(C、Dは研究成果公開促進費)。

A 『上野本注千字文注解』(和泉書院、1989)

B 『諸本集成仲文章注解』(勉誠社、1993)

C 『口遊注解』(勉誠社、1997)

D 『孝子伝注解』(汲古書院、2003)

F 『和林格爾漢墓壁画孝子伝図輯録』(平成20年度報告書、内蒙古文物考古研究所と共編)

このうち本研究の意図、方法、研究対象を体現する最大の成果は、巻末に「孝子伝図集成稿」を含む、上記D『孝子伝注解』である。孝子伝、孝子伝図は、西野貞治氏が「家族制度が極めて古くから発達した中国では、その維持のために孝行の教化が徹底され、孝行の実践例を掲げた孝子伝・孝子伝図などと題する書が、孝経と共に童蒙の必修書とされ、六朝末迄に十種以上も出現した。此等の書が盛行したことは種々の資料から偲ばれるが...」(「陽明本孝子伝の性格並に清家本との関係について」『人文研究』7・6、昭和31年7月)と言われた古代幼学書の一つで、我が国の万葉集や今昔物語集から、井原西鶴『本朝二十不孝』まで、甚大な影響を与え続けた。上記D『孝子伝注

解』は、方法論として、文献学、図像学を併用し、国際的にも高い評価を得ることができた。その結果、Fの公刊に至ったのである。

以上の成果は、中国、アメリカ等の研究者にも大きな影響を与え、関連する研究が世界各地で行われるとともに、幼学の会の公刊した資料が中国語、英語等に翻訳されている。幼学の会も、海外の幼学研究を、可能な限り紹介したいと考え、叢書「海外の幼学研究」を刊行した(既刊6冊)。

2. 研究の目的

本研究の理念は、二十世紀以来行き詰まりが指摘されて久しい国文学研究を、二十一世紀における人文学の不可欠の一領域として再構築することにある。

3. 研究の方法

本研究において、採用した方法は、単に文献学のみによるのではなく、図像学の成果を援用し、総合的な見地から、文物の質を確定してゆこうとするものである。例えば、中国の誇る国家文物武梁祠について、M・ニラン女史が偽刻説を唱えたが(2005年)、これに対する反論は、文献学のみならず図像学、石刻研究の観点を合わせ論じなければ不可能であった。

4. 研究成果

本研究においての研究成果は、以下の四点にまとめることができる。

孝子伝図、列女伝図の継続的研究

中国武梁祠の総合的研究として、『武梁祠画像注解』の公刊をめざし、その草稿はほぼ完成した。

成果の中国語訳

幼学の会による『孝子伝注解』の中国語訳を企図したが、その訳稿がほぼ完成し、中国において出版の予定である。

海外の幼学研究との連携

武梁祠偽刻説に対する中国、アメリカ、日本の研究者による論文集を白謙慎教授と共編し、近日中に刊行される。また、呉強華氏コレクションの一つが、最古のソグド人石床であったことを証明した。これにより、本年、中国において、ソグド学をテーマとする国際シンポジウムが開催される。

新領域の開拓

継続して研究対象としてきた、日本の幼学に関しては、八幡縁起、平仮名本三国伝記等の主要な本文を公刊した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計19件)

黒田彰、董黯図攷(二) 呉氏蔵董黯石床の出現、査読有、佛教大学文学部論集 102、2018、pp.13-32

②セン雪艶、呉氏蔵北朝崑崙石床囲屏の鑑戒図、京都語文、査読有、2017、pp.132-144

三木雅博、中世漢文作品における幼学書『註文章』の利用について、査読有、京都語文 25、2017、pp.118-131

後藤昭雄、『青華抄』(二)、査読有、京都語文 25、2017、pp.102-117

山崎誠、恋文の稽古 書儀(月儀)・往来・幼学・注釈、査読有、京都語文 25、2017、pp.40-54

黒田彰、翟門生覚書—呉氏蔵東魏武定元年石床の翟門生石床について—、査読有、京都語文 25、2017、pp.55-101

黒田彰、蔡順、丁蘭、韓伯瑜図攷 呉氏蔵北魏石床(二面)の連れの一面の出現、依頼原稿、国文学(関西大学)101、2017、pp.21-52

黒田彰、呉氏蔵東魏武定元年翟門生石床について—翟門生石床の孝子伝図—、査読有、仏教大学文学部論集 101、2017、pp.1-27

黒田彰、呉強華氏蔵新出北魏石床の孝子伝図について 陽明本孝子伝の引用、査読有、京都語文 24、2016、pp.134-165

黒田彰、筒井大祐、宇佐神宮本八幡のえんぎ 下巻 影印、査読有、京都語文 24、2016、pp.5-29

黒田彰、筒井大祐、宇佐神宮本八幡のえんぎ 上巻 影印翻刻、査読有、京都語文 23、2016、pp.5-33

黒田彰、南京博物院蔵後漢画像石の魯秋胡子図 新出の列女伝図について、査読有、京都語文 23、2016、pp.193-238

黒田彰、關於深圳博物館展陳北魏石床の孝子伝図 陽明本孝子伝の引用、『永遠的北朝』、査読有、2016、pp.86-104

黒田彰、董黯図攷 呉氏蔵北魏石床(二面)の孝子伝図について、佛教大学文学部論集 100、査読有、2015、pp.15-30

黒田彰、筒井大祐、石清水八幡宮本八幡縁起 影印・翻刻、京都語文 22、査読有、2015、pp.5-25

黒田彰、武梁祠帝舜図攷 歴山・外養をめぐって、京都語文 22、査読有、2015、pp.122-163

黒田彰、新出の平仮名本三国伝記について、説話文学研究 50、査読有、2015、pp.159-165

黒田彰、崑崙与獅子—祇オン寺図経割記、日本古鈔本与五山版漢籍研究論集(北京大学出版社)、査読有、2015、pp.146-179

黒田彰、祇園精舎の鐘攷(序章) 祇オン寺図経覚書、『文化現象としての源平盛衰記』(笠間書院)、査読無、2015、pp.28-46

〔学会発表〕(計4件)

黒田彰、關於呉氏蔵東魏武定元年石床の翟門生、北京大学国際漢学系列講座 8 4 講(北京

大学漢学家研修基地主催)、招待講演、2017.5.27

黒田彰、呉氏蔵東魏武定元年石床の翟門生について、グローバル化時代における人文学研究の諸相 現代における日中・東西の相互啓発のために(佛教大学・中国社会科学院文学研究所共催)、招待講演、2017.5.26

黒田彰、武梁祠画像是偽造的嗎?以漢代材料驗證之、内涵暨外延 故宮黃易尺牘研究國際學術檢討会(故宮博物院主催)、済南市石敢当磨崖芸術博物館、招待講演、2017.3.28

黒田彰、董黯図攷 呉氏蔵北魏石床(両面)孝子伝図、孝治天下:古代孝道文化与圖像芸術(シンセン博物館主催)、招待講演、2016.8.26

〔図書〕(計3件)

黒田彰、谷口博子、黒田彰蔵平仮名本三国伝記・翻刻篇、2017、457頁

黒田彰、黒田彰蔵平仮名本三国伝記・影印篇、2016、495頁

山崎誠、華北訪古誌抄訳(海外の幼学研究 8)、2015、164頁

出願状況(計 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
出願年月日:
国内外の別:

取得状況(計 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
取得年月日:
国内外の別:

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

黒田彰(KURODA, Akira)
佛教大学・文学部・教授
研究者番号: 80178136

(2) 研究分担者

研究者番号:

(3) 連携研究者

後藤昭雄(GOTO, Akio)
大阪大学名誉教授

研究者番号：80022284

三木雅博(MIKI, Masahiro)
梅花女子大学・文化表現学部・教授
研究者番号：70165992

山崎誠(YAMASAKI, Makoto)
前国文学研究資料館教授
研究者番号：70094696

筒井大祐(TSUTSUI, Daisuke)
佛教大学・文学部・非常勤講師
研究者番号：80740513

(4)研究協力者

坪井直子 (TSUBOI, Naoko)

黒田彰子(KURODA, Akiko)

趙超(ZHAO, Chao)

陳永志(CHEN, Yongzhi)

劉玉才(LIU, Yucai)

セン雪艶(JUAN, Xueyan)

K・ナップ(Keith.N. KNAPP)

白謙慎(BAI, Qianshen)

祈小春(QI, Xiaochun)